

TOPページ



サイト内検索

いね！神戸で子育て

KOBE 子育て応援団 ママフレ


 ホーム
Home

 サービス
利用者の声
Like

 年齢・目的から
探す
Services

 全てのサービス
を見る
List

 地図から探す
Map

 相談する
Consult

 病院/救急
Hospitals

乳幼児にとっての「学び」



世の中が大きく変化する時代、「子どもたちがたくましく幸せに生きていってほしい」というのは、私たち大人の願い。乳幼児期の教育・保育では、子どもたちが現在（いま）を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うために、「遊ぶ」ことを大切にしています。

子どもたちが大好きな鬼ごっこ。走りながら「腕を振ったら早く走れるかも」「急には止まれない」と体を動かすためのいろいろなことに気づき（①知識や技能の基礎）、「どっちに逃げたらいい?」「○○ちゃんなら捕まえられそう」と考えます（②思考力、判断力、表現力などの基礎）。そして、友だちと楽しく遊び続けるために、我慢することや主張すること、譲ることを知ります（③学びに向かう力、人間性など）

乳幼児にとっては、「遊び」こそが、この時期にふさわしい「学び」です。

神戸市の各園では、「遊び」を通じた取り組みを実践しています。

※①～③は乳幼児期の教育・保育で育みたい3つの資質・能力で、小学校～高等学校までの学習指導要領においても中心とされているものです。

乳幼児にとっての「学び」
詳細はこちら



ごっこ遊びはおもしろい

『ママフレ』をシェア!!



TOPページ
KOBÉ
子育て応援団
ママフレ

dev3




[当サイトの利用について](#) | [お問い合わせ](#) | [広告に関するお問い合わせ](#)

copyright 2017 神戸市 All Right Reserved.



いね！神戸で子育て


KOBE 子育て応援団 **ママフレ**
ホーム
Homeサービス
利用者の声
Like年齢・目的から
探す
Services全てのサービス
を見る
List地図から探す
Map相談する
Consult病院/救急
Hospitals

乳幼児にとっての「学び」



乳幼児の教育・保育について

乳幼児期における教育は、子どもの自由さを基盤とした自発的かつ主体的な活動である「遊び」から得た様々な経験を通じて生きる力の基礎を培うことを目的としています。「遊び」こそが、この時期の「学び」であり「学習」なのです。

そして、「遊び」が、この時期の成長にふさわしい「学び」を獲得するのに最も効果的な活動だということは、世界中の共通認識であり、当然日本においても、乳幼児期は「遊び」が「学習」であるということ、そして、乳幼児期の教育・保育は、“「遊び」を通しての指導を中心に行う”こと、とされています。

親の願いは、我が子が一生幸せでいてほしいというものです。これからの時代をどのように生きてほしいのか、それを考えることが「乳幼児期の教育」を考えることにつながります。

今や、感染症や災害など、どのような困難が起こるかわからない時代です。神戸市においても、阪神淡路大震災という未曾有の経験があります。一方でAIやIoT等のデジタル革新において、今ある仕事のほとんどがコンピューターに奪われてしまう未来がやってくるともいわれています。ここ数年でも世の中は大きく変化し、想像もしなかった時代が訪れています。これからの「乳幼児期の教育」を考える上では、この予測不可能な時代に子どもたちにどのような力を培えば、幸せに生きていくことができるのか？ということがとても大切な視点です。

どのような困難な時代でも、前向きな喜びを見出し、生まれてきてよかったと思える人、例えば大きな災害があっても、人に助けを求め、人を助けることに喜びを見出せる人、自分の欠点も含めて自分のことが好きだと思える、周りの人の良さを認め、人とつながることを喜べる人、そうやって笑顔で生き抜いていける人に育ってほしいものですね。私たちは、「予想外の事態を乗り越えながら、自らの人生を切り拓き、より良い社会づくりに貢献していくことができる人」を育みたいと考えています。

こうして書くとすごい理想のように思われるかもしれませんが、乳幼児期の教育・保育の現場では、子育てをしているお父さん、お母さんが、頑張っている自分をほめながら、時には人に頼り休みながら、子どもの声に耳を傾け、大切に愛情豊かに関わることで、自分のことを大好きだと思える子どもに育つようお家の方を応援しています。

また、そのように生きていくための「生きる力の基礎」を培うために、日本では乳幼児期に育みたい資質・能力として、以下の3つがあげられています。

①「知識及び技能の基礎」

詳細ページ

- ②「思考力、判断力、表現力等の基礎」
- ③「学びに向かう力・人間性等」

dev3

この3つの資質・能力が「遊び」を通して育まれるように、日々取り組みを行っています。

簡単な例をあげると、友だちと鬼ごっこをしながら、走り方などの①を身につけ、どう逃げたらいいいのか、右に行くか、左に行くか、止まるかなどを考えながら②を身につけ、鬼になってしまってもなれなくても、思うようにならないことを我慢して、遊び続けたら楽しかったり、友だちと協力し合ったり、友だちの良さや自分の良さに気づくことを通して③を身につけていきます。

日常の乳幼児教育・保育の現場で、「遊び」の中から、このような資質・能力が総合的に育まれている子どもたちの姿をご覧いただき、一生幸せに生きるための乳幼児期の教育とは何かをご理解いただければ、と考えています。

乳幼児にとっての「学び」
TOPページへ

『ママフレ』をシェア!!



KOBE
子育て応援団
ママフレ



当サイトの利用について | お問い合わせ | 広告に関するお問い合わせ


copyright 2017 神戸市 All Right Reserved.



事例ページ



いね！神戸で子育て


KOBE 子育て応援団 **ママフレ**
ホーム
Homeサービス
利用者の声
Like年齢・目的から
探す
Services全てのサービス
を見る
List地図から探す
Map相談する
Consult病院/救急
Hospitals

乳幼児にとっての「学び」



“

ごっこ遊びはおもしろい

”



保育所では、一人一人の育ちや興味に合わせて、「やってみたい！」という意欲を引き出し、満足できるように環境を構成しています。2歳児頃の子どもたちは、自己主張が旺盛でいろいろなことに好奇心を持ち、友だちとかかわってあそぶことも増えていきます。はじめの動画は、お人形にパンツ、ズボンや洋服を着せるお世話あそびをしています。どこから手や足を入れたらいいのか試行錯誤しながら、最後までやり通す力が自然に育まれています。何度も繰り返し、指先もだんだんと器用になっていきます。全部、服を着せて「できた！」とにっこり笑い、お人形を跳ねさせる姿は大きな達成感の表れです。

事例ページ



dev3

その次の動画は「ままごと」から、ふとしたことで「お買い物」ごっこが始まった様子です。手提げ袋を持って二人でおしゃべりしながらイメージを共有し、お人形の布団をドレスに見立てるなど、感じたことや考えたことを自分なりに表現しようとしています。そして、友だちとのかかわりの中で、相手の思いや意図を感じたりする力も育っています。

このように、それぞれの興味、関心が尊重される温かな環境のもと、主体的に楽しく遊び、生活する中で、子どもたちには様々な力が育っていきます。



事例：たちばな保育所

乳幼児にとっての「学び」
TOPページへ

『ママフレ』をシェア!!



KOBE
子育て応援団
ママフレ



事例ページ



[当サイトの利用について](#) | [お問い合わせ](#) | [広告に関するお問い合わせ](#)

copyright 2017 神戸市 All Right Reserved.

